

情報連絡員総括表（2021年6月）

－ 静岡県中小企業団体中央会 －

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. **中央会・行政への要望**
5. 主要三指標におけるDI値の推移（グラフ）

◎売上高等の9項目につき 前年同月と比較し、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI値 = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値 ±0.0(=横ばい)で推移

※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

1. 概況報告 （回答者数 60 名：回収率 100%）

- 2021年6月のDI値は、前月との比較において「売上高」「在庫数量」「取引条件」が改善、「設備操業度」が横ばい、「収益状況」「業界の景況」を含む5指標が悪化する結果となった。過剰な自粛ムードにより、様々なイベントが中止となっていることから、「感染しても非難されない安心できる雰囲気を醸成して行くべき」との声が寄せられた。
- 「製造業」では、前月との比較において「売上高」「販売価格」「雇用人員」「業界の景況」が悪化、「設備操業度」が横ばい、それ以外の「収益状況」を含む4指標が改善する結果となった。
パン製造業では、小麦粉や食用油、干しブドウの価格が上がっていることから販売価格への転嫁が余儀なくされている。
また、機械器具製造業からは、「半導体部品が手に入らず、納期延期や生産稼働停止が発生し、生産計画の見通しが立たずに苦慮している」との声が多い。
- 「非製造業」では、前月との比較において「販売価格」「取引条件」「収益状況」「資金繰り」が悪化、「売上高」が改善、それ以外の3指標が横ばいの結果となった。
宿泊業や道路貨物運送業からは、ワクチンの早期接種による景気回復を期待するコメントが寄せられた。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2021年6月	-8.4	-20.4	-10.0	-11.7	-26.6	-25.0	-20.0	-18.3	-38.3
2021年5月	-13.3	-9.1	0.0	-13.3	-20.0	-18.4	-20.0	-16.7	-35.0
増減	4.9 ↑	-11.3 ↑	-10.0 ↓	1.6 ↑	-6.6 ↓	-6.6 ↓	0.0 -	-1.6 ↓	-3.3 ↓

2. 項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体			
		DI値	増減		DI値	増減		DI値	増減				
売上高	2021年6月	-16.7	-0.1 ポイント	↓	0.0	10.0 ポイント	↑	-8.4	4.9 ポイント	↑			
	2021年5月	-16.6			-10.0			-13.3					
在庫数量	2021年6月	-10.0	-16.6 ポイント	↑	-42.9	0.0 ポイント	-	-20.4	-11.3 ポイント	↑			
	2021年5月	6.6			-42.9			-9.1					
販売価格	2021年6月	0.0	-3.3 ポイント	↓	-20.0	-16.7 ポイント	↓	-10.0	-10.0 ポイント	↓			
	2021年5月	3.3			-3.3			0.0					
取引条件	2021年6月	-6.7	3.3 ポイント	↑	-16.7	-0.1 ポイント	↓	-11.7	1.6 ポイント	↑			
	2021年5月	-10.0			-16.6			-13.3					
収益状況	2021年6月	-23.3	3.4 ポイント	↑	-30.0	-16.6 ポイント	↓	-26.6	-6.6 ポイント	↓			
	2021年5月	-26.7			-13.4			-20.0					
資金繰り	2021年6月	-6.7	10.0 ポイント	↑	-43.4	-23.4 ポイント	↓	-25.0	-6.6 ポイント	↓			
	2021年5月	-16.7			-20.0			-18.4					
設備操業度	2021年6月	-20.0	0.0 ポイント	-	/				-20.0	0.0 ポイント	-		
	2021年5月	-20.0			-20.0								
雇用人員	2021年6月	-16.7	-3.3 ポイント	↓	-20.0	0.0 ポイント	-	-18.3	-1.6 ポイント	↓			
	2021年5月	-13.4			-20.0			-16.7					
業界の景況	2021年6月	-43.4	-6.8 ポイント	↓	-33.3	0.0 ポイント	-	-38.3	-3.3 ポイント	↓			
	2021年5月	-36.6			-33.3			-35.0					

今月の業種別回答件数

		売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況							
		増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化						
製造業	食料品	0	2	0	2	1	0	0	1	0	2	0	1	0	1	0	1	0	2						
	繊維工業	0	2	1	0	0	0	0	0	0	3	0	2	0	3	0	1	0	2						
	木材・木製品	3	0	0	3	2	1	1	0	3	1	2	0	2	0	0	0	1	1						
	紙・紙加工品	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1						
	印刷	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1						
	窯業・土石製品	0	3	1	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	2	0	1	0	3						
	鉄鋼・金属工業	2	1	0	1	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	0	0	1	2						
	一般機器	1	2	0	1	0	1	0	1	1	1	0	1	1	2	1	1	0	2						
	電気機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1						
	輸送用機器	3	2	2	0	0	1	0	1	3	2	1	1	2	1	0	2	2	2						
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
非製造業	卸売業	0	2	0	2	0	1	0	1	0	3	0	2	/				0	1	0	3				
	小売業	1	2	0	1	1	1	0	1	1	3	0	4					0	2	1	3				
	商店街	1	3	0	3	0	3	0	1	0	4	0	3					0	1	0	3				
	サービス業	3	0	/				1	0	1	0	2	0					1	1	0	0	1	1		
	建設業	0	0					0	3	0	2	0	3					0	2	0	2	0	0	1	1
	運輸業	3	1					1	1	0	1	2	1					0	2	0	2	0	2	0	2

3.情報連絡員からの報告

製造業

水産食料品	<ul style="list-style-type: none"> ・小売量販店への卸売りは平常だが、飲食店舗の減衰により鮮魚類の流通が減少している。 ・「緊急事態宣言」の影響は昨年は感じられないが、依然として元の状況に戻らない。特に外食産業向けの業務用商品の動きが鈍く好転する兆しが見えない。
パン	<ul style="list-style-type: none"> ・パン製造の主原料である小麦粉などの穀物の価格が、世界的な需要増に加え異常気象による不作により上昇している。さらに、食用油、マーガリン、干しブドウの価格も上がっており、販売価格への転嫁による売上げへの影響が懸念される。
織物業	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で悪化した生産状況が未だ好転せず稼働率は30%~40%の状況。
宗教用具	<ul style="list-style-type: none"> ・4~6月の3ヶ月間では売上げは2割増加したものの、原材料の値上げ等があり収益状況に悪化が見られる。
製材業、木製品	<ul style="list-style-type: none"> ・米国の住宅需要に起因する輸入木材の相場高と入荷制限「ウッドショック」の影響で、国産材が注目されている。組合員工場への注文や問い合わせが増え、販売価格も上昇しているが、期待したほど山からの原木供給が増加していないので、需要に応じるほどの増産につながっておらず、仕入価格も上がっているため収益は一概に好転していない現状。
印刷・同関連業	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスによる影響で、印刷需要が低迷していることに変わりはない。前年も売上げが低調だったことから、前年と比較してあまり変わらない。 ・官庁の大型入札案件では前年比で落札見込み金額が大幅に下落している。組合員の特定業者が、複数の案件で最安価格で落札しているが、自社で印刷せず、実質丸投げをしているところもある。相場金額が下落することで当業界は今後も厳しい状況が続くことが懸念される。
生産用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・中国で建機、EVを含む自動車関連、風力などの新エネ向けに工作機械の需要が拡大しているという。その影響が「売上高増加」の組合員も少し出てきているが、大半は「横ばい」か「減少」の状況。 ・コロナ禍前には及ばないが、売上高、利益とも昨年並みに回復している。 ・半導体生産装置の製造業者が使用する半導体部品が手に入らず、納期遅延、コスト高を余儀なくされている。
電気機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・半導体不足に関して、足元では生産調整が具体化してきている。但し、納期繰上げ交渉並びに代替品検討も進んでおり、影響のミニマム化が求められている。 ・大型冷蔵庫、家庭用エアコンは販売好調ではあるが、生産は前年比ではマイナスとなった。 ・業務用エアコンは海外向けと国内向け共に好調であり、生産計画は下方修正したが前年比ではプラスであった。
輸送用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・半導体不足の影響が広範囲に及んでいる。製造業においてはコロナ禍からの回復に水を差す要因になっている。 ・四輪車の半導体不足の影響で部品調達の見通しが立たず、生産稼働の停止が発生しており生産計画も刻々と変化が生じているので、先々の見通しが立てられず困っている。 ・受注が少なく好転する兆しも見通せずこの状況が続くことが予想される。 ・昨年は新型コロナウイルスの影響で休業対応をとっていたことから、自動車関連においては昨年度と比較すれば全体的に好調の状況。懸念事項として電子部品の不足による生産調整が行われており、下請け業者はメーカー・車種によりその影響は大きい。

非製造業

セメント卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・官需・民需共に需要は停滞しており、長期にわたり荷動きが弱い状態で、7ヶ月連続前年割れとなった。
鮮魚小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年の緊急事態宣言下での状況と比較すれば好転といえるが、コロナ禍以前に回復するとは考えられず、厳しい経営環境が続くことが予想される。
各種商品小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度よりは良い状態となっているが、まだまだ来店者数は少ない。 ・昨年6月が「新型コロナウイルスによる定額給付金」により消費が増加したこともあり、対前年比では売上高は減少した。

宿泊業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年6月は新型コロナウイルス感染症の影響で休業または休館する施設が多かったため、売上高は前年同月と比較すると若干増加しているものの、コロナ禍前の一昨年同月と比較すると約50%減となっており、宿泊業界は依然として厳しい状況が続いている。 ・ 国民のワクチン早期接種とオリンピック・パラリンピックの成功が観光活性化に繋がるものと期待する。
情報サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後半期にむけての案件で、設計、開発要員等の人材確保情報が多く出始めている。
総合工事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鋼材やボルト不足の影響で発注時期が早くなり、一時的に売上高や操業度は昨年度並みに戻りつつある。ただ販売価格が低迷したままであることに加え、鋼材単価が急速に、かつ大幅に上昇しているため収益、資金繰りはかえって悪化している。
職別工事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発注の促進により物件はそろってきた模様であるが、例年との比較ではまだまだの気配である。 ・ 鋼材などの資材の値上げにより利益が圧迫されており、自ずと「手間請費用」が圧迫されている。
道路貨物運送業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 荷物情報は、中旬から増加傾向で20日の「緊急事態宣言」解除後は飲料・食品・資材等を中心に増加した。ただ、新型コロナウイルス感染前と比較すると、まだ半分程度の状況である。ワクチン接種の拡大による景気回復が期待される。 ・ ウッドショックや半導体不足により、荷動きが悪くなってきた。
道路旅客運送業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「緊急事態宣言」下の昨年5月に比べ運送収入は65%増加した。とはいえ、まん延防止措置が取られている首都圏や中京圏からの人の動きは低調であり、特に平日の午後や夜間の旅客需要は落ち込んだままである。 ・ コロナ禍前の一昨年5月の運送収入と比較してみると、全体でマイナス43%、特に県西部ではマイナス50%近い数字となっている。 ・ 今後雇用調整助成金の特例措置が打ち切れれば、経営維持はますます困難な状況に陥る。

4. 中央会・行政への要望

各種商品小売業より

・ 過剰な自粛ムードが長く続いており、その影響で7月、8月のイベントも中止となった。国のイベント開催ガイドラインに沿えば可能な事業も自粛となっている。また、1年半の間「感染」=「悪」という空気が出来上がってしまった。感染しても「非難」されない安心できる雰囲気醸成して行くべきなのではと思う。全てにおいて「ゼロリスク」の転換を計らないと停滞が続いてしまう懸念がある。

道路旅客運送業より

・ オリンピックの外国人観客制限や、限定的な観光キャンペーンなど、まだまだ人の動きが鈍いため、ワクチン接種拡大に合わせ、抜本的な旅客需要回復策をお願いしたい。

その他

・ 新型コロナウイルス対策に関して、「国の基本方針」「ロードマップ」を国民に提示するだけで、総合的に何をしていくかが全く分からない。

・ 感染者が増えれば「緊急事態宣言」を出しているだけで、医療の逼迫懸念も、水際対策も、ワクチン接種集団免疫も適当な言い訳、泥縄対策だけである。五輪も「安心・安全」を言うだけで、政治家が政治をやらずにやっている感だけである。「コロナとの戦い」と言うだけでそんなことは聞き飽きた。まともな改革をやってもらいたい。

5. 主要三指標における DI 値の推移

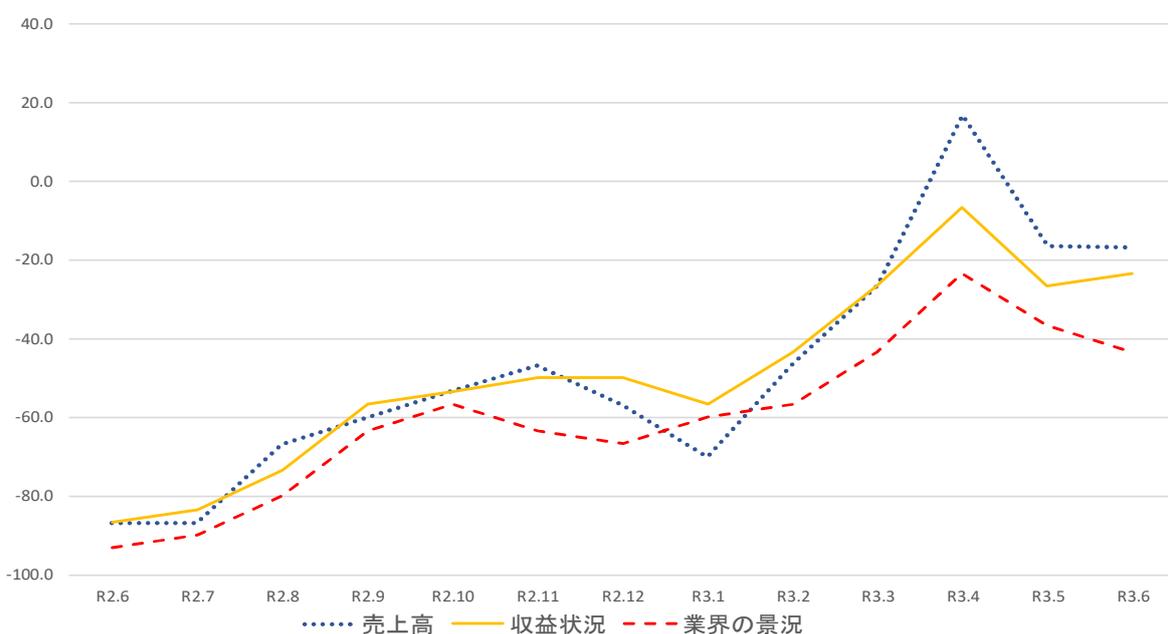
■ 2020年6月期～2021年6月期までの推移

全体	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	R3.6
売上高	-76.7	-80.0	-60.0	-58.4	-38.3	-33.3	-53.3	-66.7	-51.6	-33.3	-5.0	-13.3	-8.4
収益状況	-80.0	-78.3	-66.7	-56.7	-33.3	-38.3	-45.0	-60.0	-51.6	-33.3	-18.3	-20.0	-26.6
業界の景況	-83.3	-85.0	-7.7	-56.7	-45.0	-50.0	-58.3	-63.4	-61.6	-46.7	-36.6	-35.0	-38.3

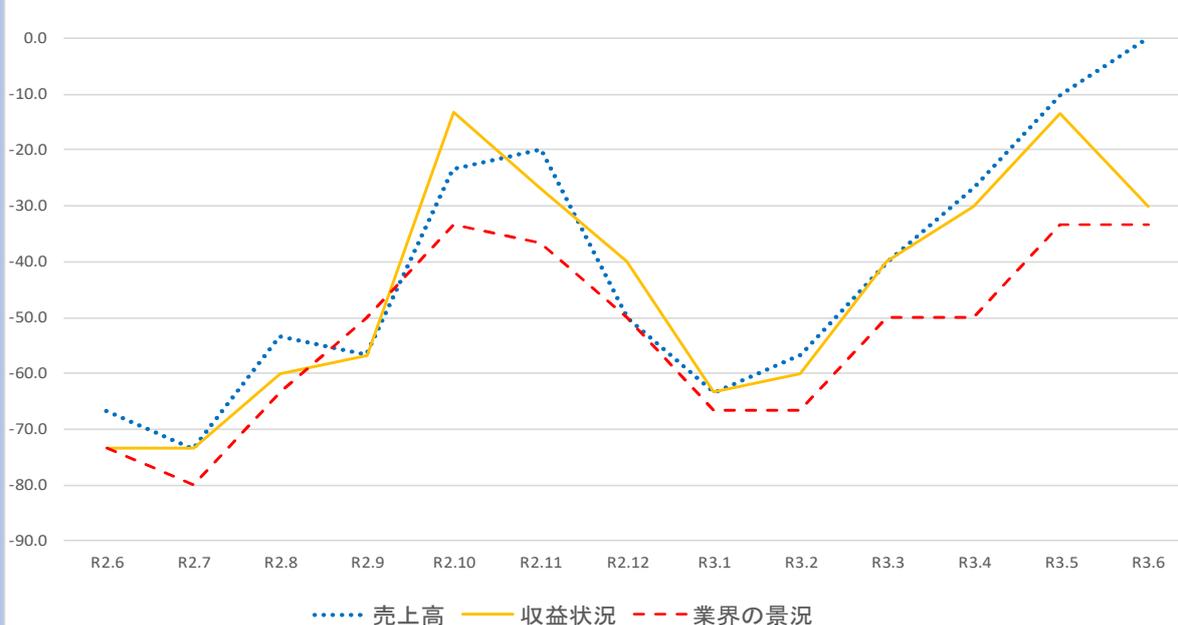
製造業	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	R3.6
売上高	-86.7	-86.7	-66.7	-60.0	-53.4	-46.7	-56.7	-70.0	-46.6	-26.6	16.7	-16.6	-16.7
収益状況	-86.7	-83.4	-73.3	-56.7	-53.4	-50.0	-56.6	-56.6	-43.3	-26.7	-6.7	-26.7	-23.3
業界の景況	-93.3	-90.0	-80.0	-63.3	-56.7	-63.3	-66.6	-60.0	-56.7	-43.3	-23.3	-36.6	-43.4

非製造業	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	R3.6
売上高	-66.6	-73.4	-53.3	-56.7	-23.3	-20.0	-50.0	-63.4	-56.6	-40.0	-26.7	-10.0	0.0
収益状況	-73.4	-73.3	-60.0	-56.7	-13.3	-26.7	-40.0	-63.4	-60.0	-40.0	-30.0	-13.4	-30.0
業界の景況	-73.3	-80.0	-63.3	-50.0	-33.4	-36.6	-50.0	-66.7	-66.7	-50.0	-50.0	-33.3	-33.3

【製造業 DI 値（前月比）】



【非製造業 DI 値（前月比）】



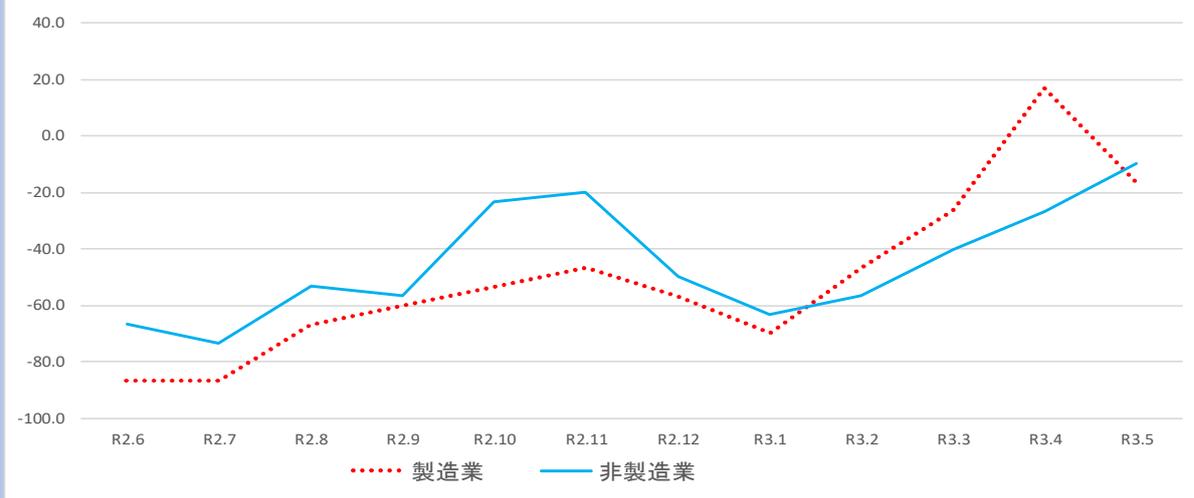
■ 2020年6月期～2021年6月期までの推移

売上高	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	R3.6
製造業	-86.7	-86.7	-66.7	-60.0	-53.4	-46.7	-56.7	-70.0	-46.6	-26.6	16.7	-16.6	-16.7
非製造業	-66.6	-73.4	-53.3	-56.7	-23.3	-20.0	-50.0	-63.4	-56.6	-40.0	-26.7	-10.0	0.0

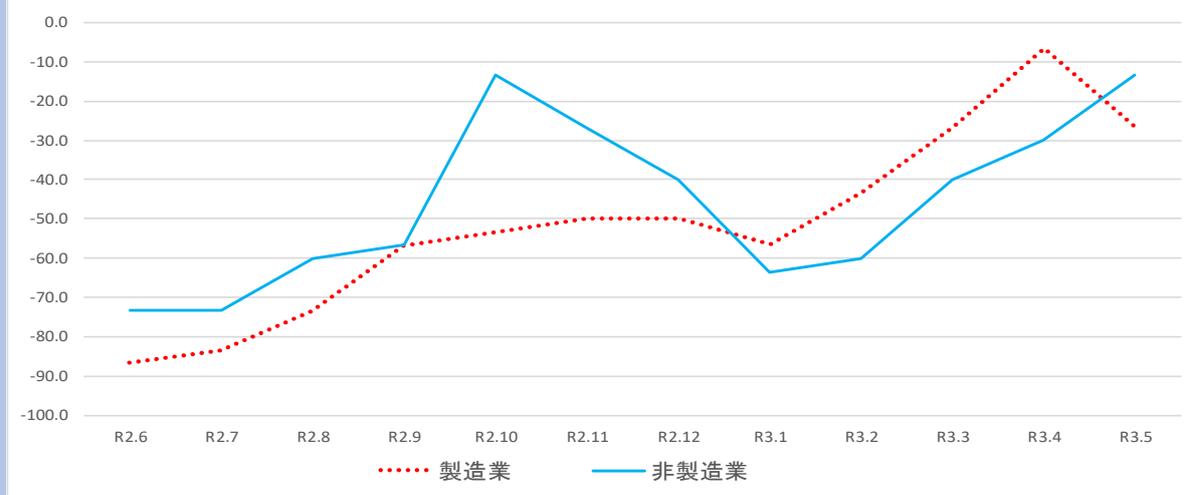
収益状況	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	R3.6
製造業	-86.7	-83.4	-73.3	-56.7	-53.4	-50.0	-50.0	-56.6	-43.3	-26.7	-6.7	-26.7	-23.3
非製造業	-73.4	-73.3	-60.0	-56.7	-13.3	-26.7	-40.0	-63.4	-60.0	-40.0	-30.0	-13.4	-30.0

業界の景況	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	R3.6
製造業	-93.3	-90.0	-80.0	-63.3	-56.7	-63.3	-66.6	-60.0	-56.7	-43.3	-23.3	-36.6	-43.4
非製造業	-73.3	-80.0	-63.3	-50.0	-33.4	-36.6	-50.0	-66.7	-66.7	-50.0	-50.0	-33.3	-33.3

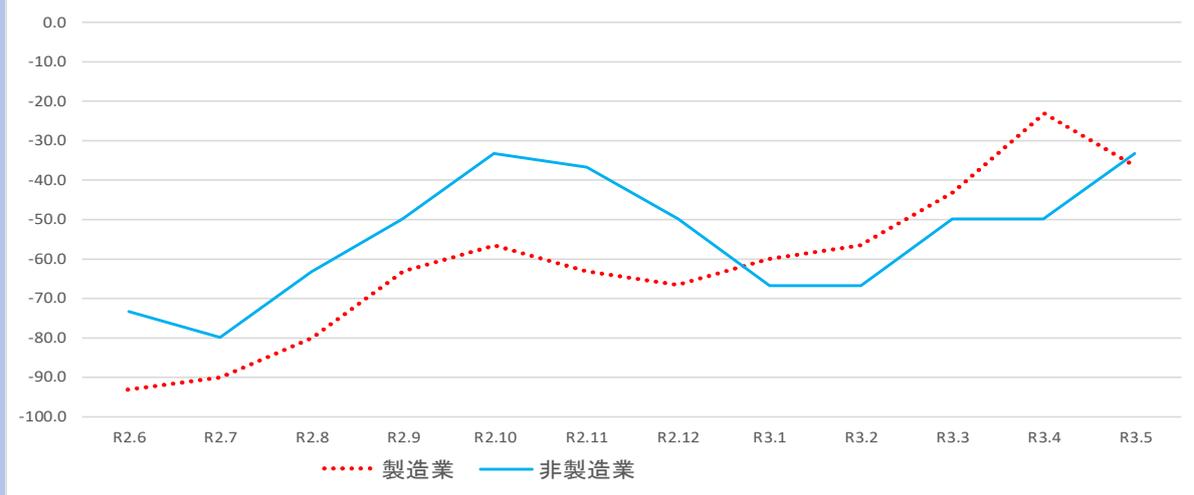
【売上高／製造業と非製造業の比較 D I 値（前月比）】

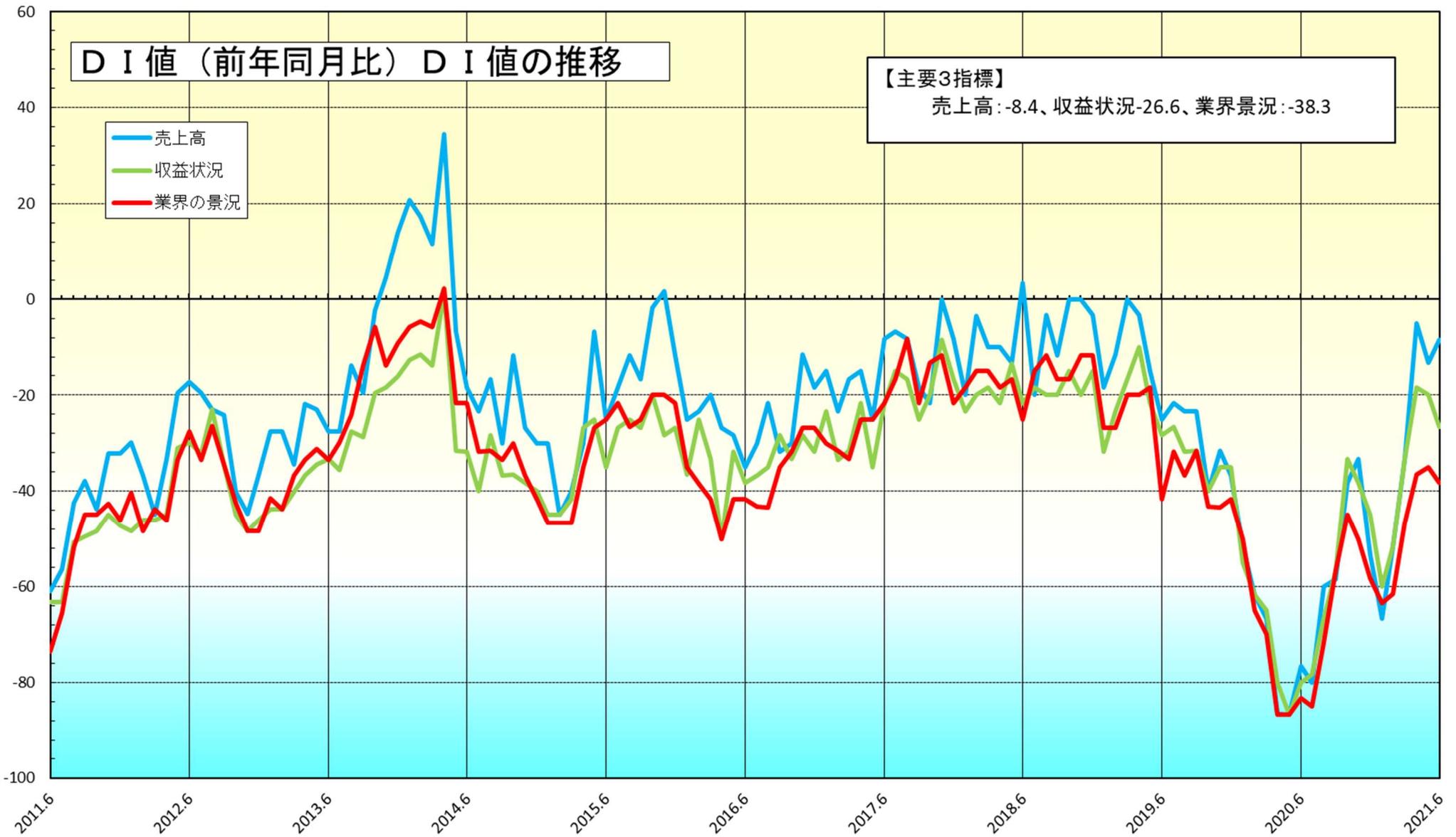


【収益状況／製造業と非製造業の比較 D I 値（前月比）】



【業界の景況／製造業と非製造業の比較 D I 値（前月比）】





このD I 値は県内の地域、業種を代表する組合役職員60名の情報連絡員から寄せられた景況等に関する情報の一部を表したものです。